



『 認め、励ます 』

校長 弥生 陽子

9月の運動会に始まり、宿泊学習や遠足、しんきろうロードマラソン、市民文化祭ステージ発表、秋の子集会、音楽集会等、多くの行事を通して大きく成長した子供たちです。日々の活動の中でも、心温まる素敵な子供たちの姿を見付けました。

- ・全校集会で、委員会の発表を見て心からの拍手とその後の誠意ある取組
- ・提示された資料を見比べて、これから学習することを自分たちで考える授業時間
- ・クラス中の友達からの褒め言葉シャワー
- ・休んでいる友達の分も一生懸命に掃除
- ・友達に迷惑をかけて、心から「ごめんなさい」
- ・休み時間は外で力いっぱい遊び、その後はしっかりと手洗い
- ・5、6年生のリードで全員体力パワーアップ
- ・上級生にまじってちびっ子挨拶ボランティア
- ・登校時、しっかり1列で歩き、「おはようございます」と元気に挨拶中には、こちらの目をじっと見て、会釈を添えることも



- ・登校時、交差点で止まってくださった自動車の運転手さんに会釈で「ありがとう」

この時々で、子供たちの素直な心に触れ、小さな感動をたくさんもらいました。そのお礼に、「みんなに伝わるようにとたくさん練習したのが（私には）分かるよ」「下級生を第一に考えてくれて（私は）頼もしく思うよ」「笑顔で挨拶してくれるので（私は）元気になります」などと私が思うことを添えて行動のよさを伝えるようにしています。

保護者の皆様には、お子さんと一緒に2学期を振り返り、努力したことを認め、子供の達成感やうれしい気持ちを共有していただけたらと思います。また、ご家庭でがんばっていたこともあると思います。早寝早起きや自主学習、挨拶、手伝い等のがんばりについて、普段あまり伝えていないということであればこの機会に伝えてみるのはいかがでしょうか。例えば、家で決めたネット利用の時間を守ることが多くなっていれば、「時間を守っていて（私は）うれしいな」、掃除の手伝いをしていれば「掃除機をかけてくれて（私は）助かるな」と。

子供たちのために、周りの大人ができることの一つに、認め、励ますことがあります。当たり前かもしれない行為を自分のがんばりや長所として聞くことで、自信をもち、次の意欲や努力の継続へとつながっていきます。どうぞ、お子さんの自信につながる「認め励ます言葉」を保護者の皆様の気持ちを添えて伝えることもプレゼントの一つに加えてみてください。

保護者の皆様、2学期も学校教育にご理解とご協力、ありがとうございました。

毎日の健康管理とチェックカードへの記載をはじめ、旗当番や様々な行事へのご支援に深く感謝しています。また、月初めにはご多用の中、個別懇談会に来校くださりありがとうございました。

いよいよ子供たちが楽しみにしている冬休みです。2学期の成長を共に喜び、家族の触れ合いを深め、よい年をお迎えください。

